



名古屋大学 COI-NEXT  
マイモビリティ共創拠点

## みんなの 「行きたい」「会いたい」「参加したい」 をかなえる超移動社会

本拠点は、『みんなの「行きたい」「会いたい」「参加したい」をかなえる超移動社会』をビジョンに掲げ、マイカーを使わない（運転できない、運転したくない）人にも公平な社会参加の機会が得られる、持続可能な地域の共創を目指します。本シンポジウムでは、自動運転を活用した先進モビリティ技術の開発、モビリティアセットの共有化、総合知の活用による社会的受容性の向上などの取り組みを紹介し、地域の移動問題を自分ごとと捉える「マイモビリティ」の共創によって地域を次世代につなぐ構想に関して議論いたします。

※COI-NEXTマイモビリティ共創拠点とは、地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点の略称で、2022年、文部科学省「共創の場形成支援」/ 国立研究開発法人科学技術振興機構「共創の場形成支援プログラム」の採択を受け、10年後の未来社会を見通した研究開発を産業界・大学・自治体・市民と連携して推進しています。



### ディスカッションテーマ

地域における  
マイモビリティ・マイタウンについて

持続可能な将来の姿について

### 参加無料

#### 定員

ホール会場 —— 70名  
オンライン —— 1000名  
※いずれも先着順

#### 会場

●リアル会場  
東海国立大学機構 名古屋大学  
東山キャンパス  
アジアコミュニティフォーラム  
(アジア法交流館)  
●オンライン会場  
参加申込いただいた方に、  
後日配信URLをご案内します。

#### 主催・後援

●主催  
名古屋大学 COI-NEXT  
地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点  
●後援  
東海国立大学機構 名古屋大学 未来社会創造機構  
東海国立大学機構 名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所  
東海国立大学機構 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 名古屋大学協力会

#### ●アクセスマップ



名城線名古屋大学駅1番出口から南へ100m→山手通1前の入口から学内へお入りください。

※ 事前申込制の意見交換会(有料)を予定しております。



お申し込みはこちら

申込締切 ▶ 令和5年3月27日(月)

[https://mymobi.mirai.nagoya-u.ac.jp/news/20230328nu-coinext\\_symp/](https://mymobi.mirai.nagoya-u.ac.jp/news/20230328nu-coinext_symp/)

#### 問合せ先

東海国立大学機構 名古屋大学  
未来社会創造機構 プロジェクト統括室

Email ▶ [info-mymobi@mirai.nagoya-u.ac.jp](mailto:info-mymobi@mirai.nagoya-u.ac.jp)

## 14:00 開会・主催者挨拶

- 開会挨拶 — 杉山 直(東海国立大学機構 名古屋大学 総長)  
主催者挨拶 — 佐宗 章弘(東海国立大学機構 名古屋大学 副総長)

## 14:15 来賓挨拶

- 梅原 弘史(文部科学省 産業連携・地域振興課 拠点形成・地域振興室 室長)  
— 中川 雅人(共創の場形成支援プログラム 地域共創分野 プログラムオフィサー)  
— 西村 訓弘(共創の場形成支援プログラム 地域共創分野 副プログラムオフィサー)

## 14:35 ビジョン・取り組み紹介

### ビジョン・研究開発・取り組み内容紹介

- 森川 高行(東海国立大学機構 名古屋大学 未来社会創造機構 教授/  
マイモビリティ共創拠点 プロジェクトリーダー)

## 15:05 パネルディスカッション

### 『みんなの「行きたい」「会いたい」「参加したい」をかなえる超移動社会』

- 〈モデレーター〉森川 高行(東海国立大学機構 名古屋大学 未来社会創造機構 教授/  
マイモビリティ共創拠点 プロジェクトリーダー)

〈サブモデレーター〉大本 綾(株式会社Laere)

#### ●「最先端モビリティ都市」の実現に向けて

- 日下 雄介(名古屋市役所 住宅都市局長/マイモビリティ共創拠点 プロジェクトリーダー補佐)

#### ●春日井市における名古屋大学と連携した新たなモビリティを活用した取組

- 加藤 達也(春日井市副市長/マイモビリティ共創拠点 プロジェクトリーダー補佐)

#### ●エリア版MaaS構想・歴史的商業地区“エキ・シロ”再生プロジェクト

- 山口 啓輔(名古屋鉄道株式会社 経営戦略部 総合企画担当 課長)

#### ●岐阜市における公共交通への自動運転技術導入に向けた取り組み

- 神戸 智史(岐阜市役所 都市建設部 交通政策課長)

#### ●JR東海のイノベーション活動とCOI-NEXTとの連携

- 本小 輝晃(東海旅客鉄道株式会社 総合技術本部 技術開発部 イノベーション推進室 副長)

## 16:50 閉会挨拶

- 松尾 清一(東海国立大学機構 機構長)

## 17:30 意見交換会(事前申込制・有料)

## 登壇者紹介



### 森川 高行

(名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所 教授)  
京都大学工学部卒業、同大学院修士課程修了、マサチューセッツ工科大学(MIT)大学院博士課程修了。京都大学助手、名古屋大学助教授、MIT客員准教授を経て、2000年から名古屋大学大学院教授。名古屋大学COIでは、2016年からプログラム終了まで研究リーダーを務めた。専門は、次世代モビリティ、交通計画、都市計画、消費者行動論。



### 日下 雄介

(名古屋市役所 住宅都市局長/  
マイモビリティ共創拠点プロジェクトリーダー補佐)  
東京都出身。東京大学を卒業後、平成14年に国土交通省に入省。宮崎県庁への出向、鉄道局、公共交通政策部などの後、総合政策局交通政策課企画官、都市局総務課企画官、大臣官房総務課企画官を経て、2022年7月より現職。  
MaaSなど公共交通政策の制度構築に携わった経験などを生かし、名古屋市の「最先端モビリティ都市」の実現を目指す。



### 山口 啓輔

(名古屋鉄道株式会社 経営戦略部 総合企画担当 課長)  
2002年名古屋鉄道に入社。2019年より現職。  
名鉄グループの総合交通政策を担当。  
公共交通分担率の向上に向けた取り組みとして、エリア版MaaS構想「CentX」の推進に従事。



### 大本 綾(株式会社Laere)

デンマークのビジネスデザインスクールを卒業後、株式会社Laere(レア)を共同設立。  
北欧社会をヒントに、クリエイティブ人材育成と組織開発の支援を行っている。



### 加藤 達也

(春日井市副市長/マイモビリティ共創拠点プロジェクトリーダー補佐)  
1978年春日井市に奉職、2011年総務部長を経て、2016年度から副市長に就任。都市基盤整備や地域交通政策などを担当し、各種計画策定に携わった。



### 神戸 智史(岐阜市役所 都市建設部 交通政策課長)

1992年岐阜市に奉職、2021年4月より現職。  
これまで、BRTやコミュニティバスの導入などに携わり、自動運転については取り組みを開始した2019年より担当。



### 本小 輝晃

(東海旅客鉄道株式会社 総合技術本部 技術開発部  
イノベーション推進室 副長)  
2009年JR東海に入社。入社以降、新幹線・在来線・リニア部門での設備関係の計画・設計・施工管理等に従事。2020年7月に発足したイノベーション推進室にて、発足当初よりオープンイノベーション活動に従事。